

環境情報流通実証実験 川中企業事例紹介

アルプス電気株式会社
志賀 真史

－ 目 次 －

1. 目的
2. 実験内容
3. 実験結果
4. 課題と今後の取り組み

1. 目的

弊社における実証実験の目的

1) 自社のAIS管理システムと他のAIS作成支援ツールとの整合性の確認

2) AISの入手および受渡時の課題収集

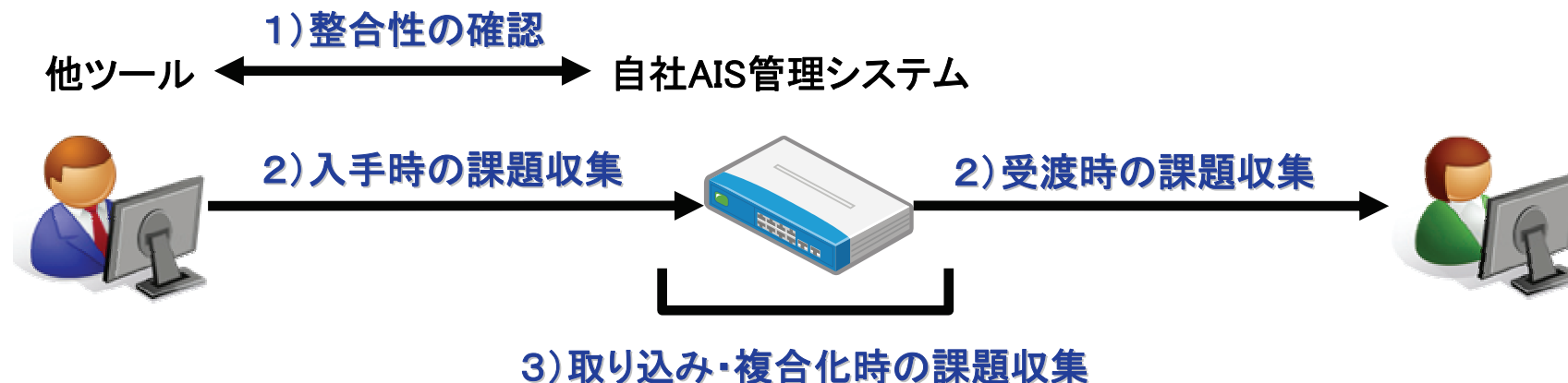
3) 自社AIS作成システムへのAIS取り込み、および複合化時の課題収集

複合化: 入手したAISを自社製品の構成に合わせて合成すること。

【 川上企業 】

【 ALPS 】

【 川下企業 】



2. 実験内容

1) 概要

- a. 川上企業が各種ツールで作成したAISデータを手し、
- b. 自社のAIS管理システムに取り込み、BOM情報、企業情報を基に複合化を行い、
- c. 川下企業が指定するシステムへAISデータを受け渡す。

2) AISツール

ALPS	自社AIS管理システム（以下 ※Green AXIS）
川上企業	JEITA AIS作成支援ツール JAMP AIS作成支援ツール
川下企業	Green AXIS ASPサービス ProChemist

※Green AXIS: TDK、ALPS、ALSIにて共同開発したAIS管理システム

3) 流通方法

川上企業	Green AXISへのアップロード
	Green AXIS間連携
川下企業	ProChemistへのアップロード

2. 実験内容

4) 実験品目

a. 川上企業より収集したAISの品目と件数

コンデンサ・抵抗 38品目

b. 川下企業へ提供したAISの品目と件数

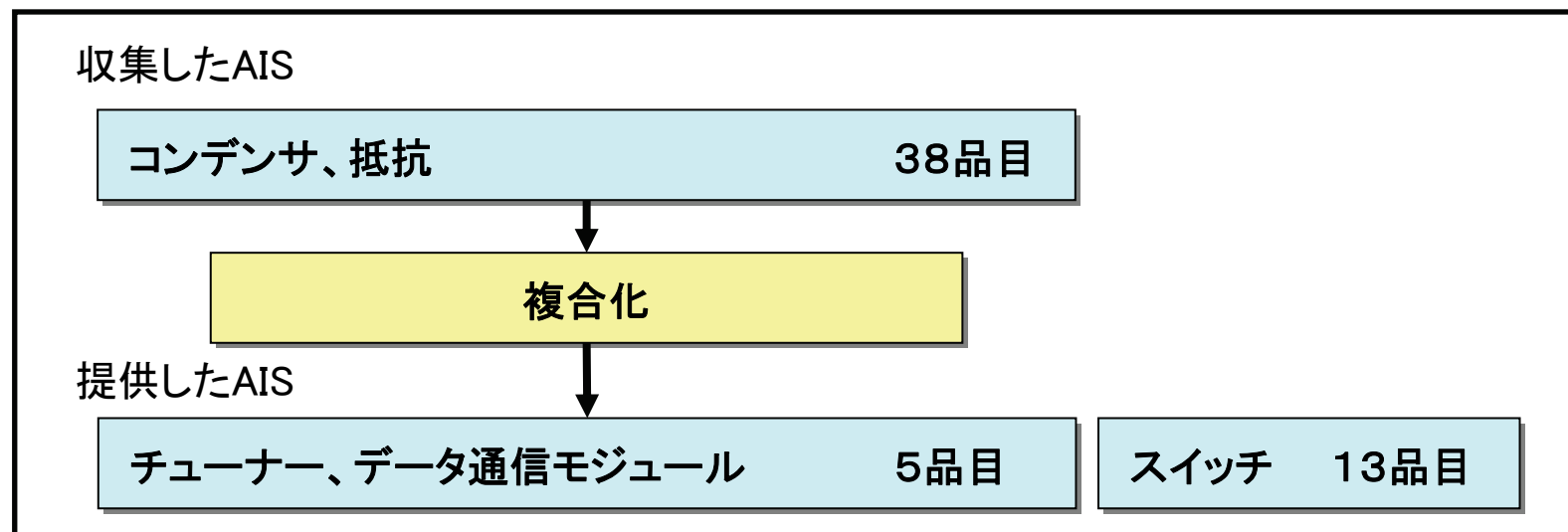
チューナー、データ通信モジュール 5品目

スイッチ 13品目

c. 複合化件数

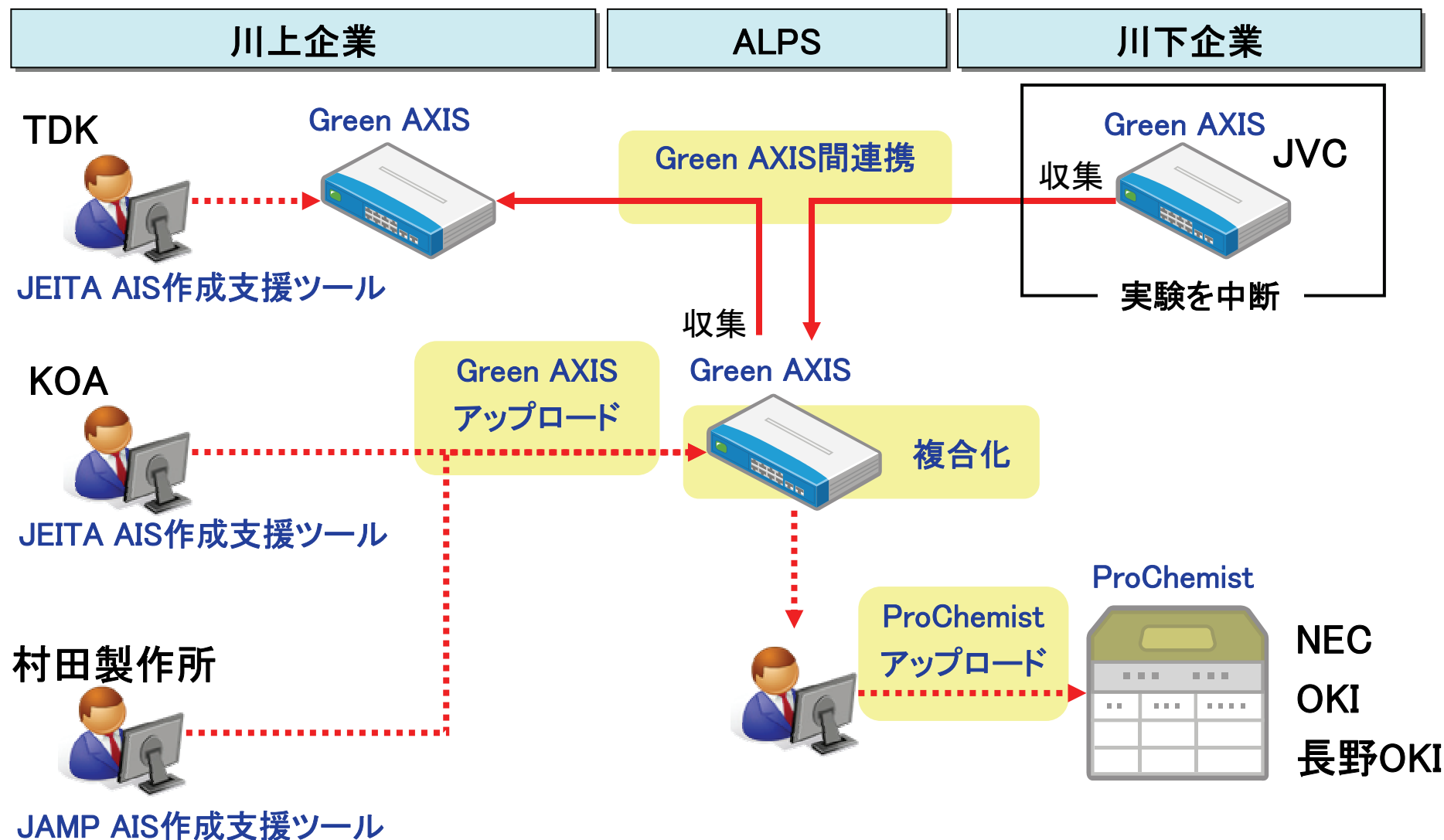
コンデンサ・抵抗 38品目

チューナー、データ通信モジュール 5品目



2. 実験内容

5) 全体イメージ 敬称略



3. 実験結果

1) 処理件数

- | | |
|----------------------|----------------|
| a. 川上企業からのAISデータ取り込み | 全件OK |
| b. 複合化 | 全件OK |
| c. 川下企業へのAISデータ提供 | 14件OK 4件は実験を中断 |

2) 結果

目的

1) 自社のAIS管理システムと他のAIS作成支援ツールとの整合性の確認

2) AISの入手および受渡時の課題収集

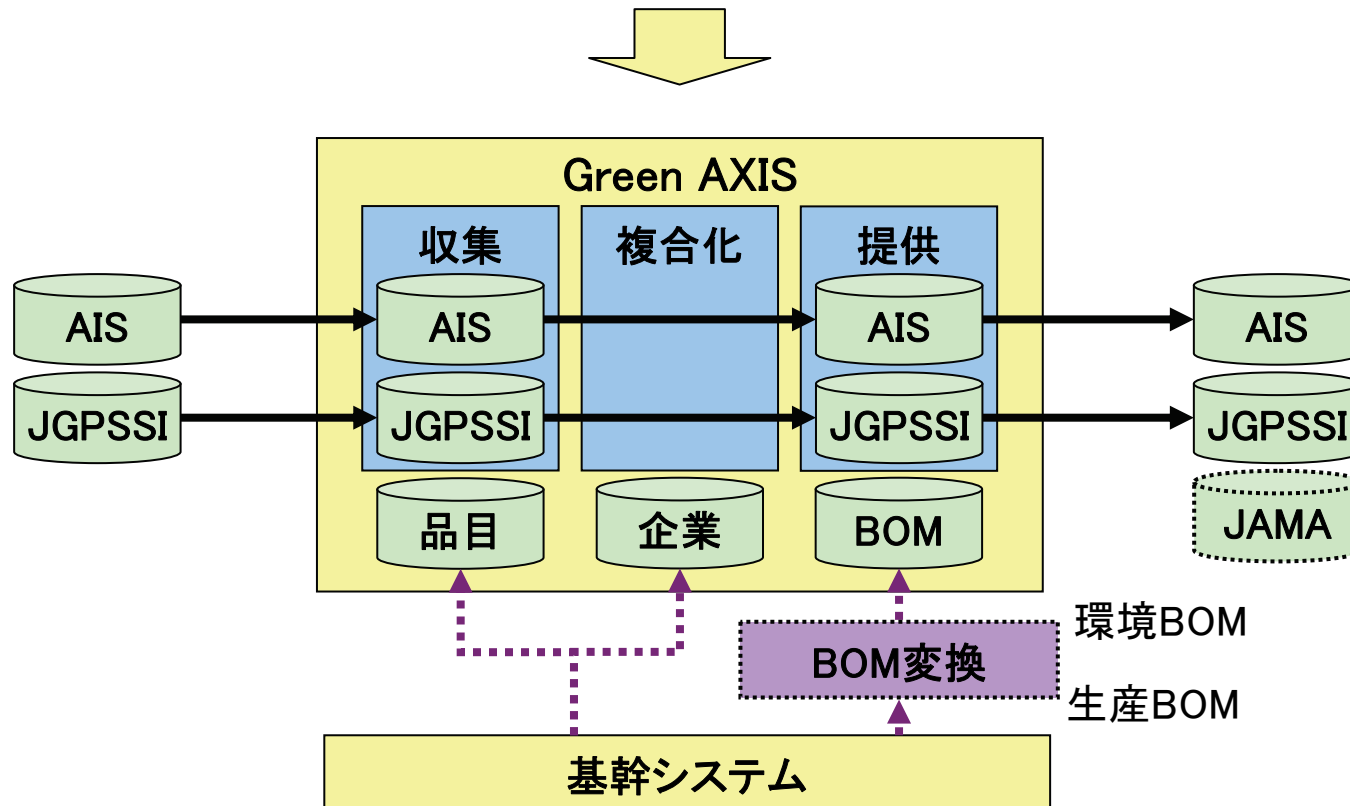
3) 自社AIS作成システムへのAIS取り込み、および複合化時の課題収集

- ☐ 結果的には、全AISの取り込み、複合化、提供を行うことは出来た。
- ☐ このことから、AISツール間の整合性は確認することが出来た。
- ☐ ただし、効率的にAISを流通させる為には、幾つかの課題が確認できた。
- ☐ 以上のことから当初の実験目的は達成することができ、有意義な活動となった。

4. 課題と今後の取り組み

1) 当初の課題と取り組み

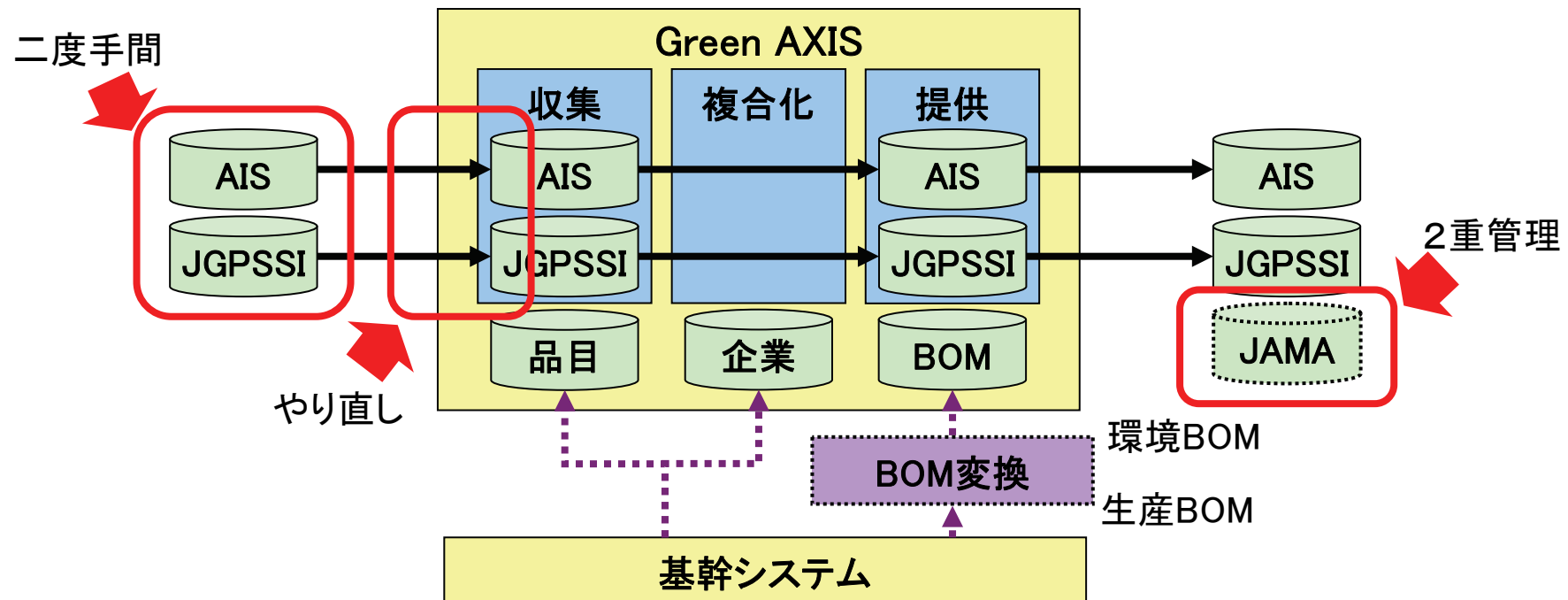
- a. 部品構成の多いユニット系モジュールのAIS作成工数の問題
- b. 正味必要数の把握の問題 ⇒ ラインへの投入量(生産BOM)と正味必要数の差異
- c. 加工工程での含有物質消失の問題



4. 課題と今後の取り組み

2) 現在の課題

- a. 提供する含有物質フォーマットに合わせた情報の収集 二度手間の問題
- b. 車載用と車載以外の含有情報管理の2重管理
- c. 入手した含有物質情報から自社品目を特定させる問題・・・実証実験より
AIS記入条件 提供会社名は必須、会社IDは任意 発行者型番は必須、依頼者型番は任意
- d. 取り込み時のチェック条件の問題・・・実証実験より



4. 課題と今後の取り組み

3) 今後の取り組み

- a. BOMの使用数を投入量から正味必要数への変換機能の開発
- b. AIS、JGPSSI混在での複合化機能の開発
- c. JAMAシートへのマッピング機能の開発
- d. 情報交換時の取り決め事項の検討

